

せんきょうしになった モーサヤのむすこたち

だい19しょう



アンモン、アロン、オムナー、ヒムナイは、モーサヤのむすこです。この4人がアルマのむすこといっしょにいた時、てんしがあらわれました。(モーサヤ27： 11, 34)



モーサヤのむすこたちは、自分のつみをくい、めいわくをかけたことをこうかいしました。4人はふくいんがしんじつだと知って、ほかの人にも教えたいと思いました。(モーサヤ27： 35-36)



かれらはだれ一人、王のくらいをつごうとしませんでした。それよりも、せんきょうしになって、レーマン人とふくいんのめぐみを分かち合いたいと思いました。(モーサヤ28： 1, 10； 29： 3)



そこでモーサヤ王は、むすこたちをでんどうに行かせるべきかどうか、おいのりしました。すると、神はおっしゃいました。「行かせなさい。わたしがかれらをまもりまします。多くのレーマン人があなたのむすこたちのことばをしんじるでしょう。」(モーサヤ28： 6-7)



モーサヤのむすこたちは、よいせんきょうしになれるようにだんじきして、いのりしました。それからレーマン人へのでんどうにたびだちました。(モーサヤ28： 9； アルマ17： 9)